



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

東

上場会社名 ネクストウェア株式会社

上場取引所

コード番号 4814

URL https://www.nextware.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)豊田 崇克

問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員

(氏名)渡邊 博和

(TEL)06-6281-9866

四半期報告書提出予定日 2022年8月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	579	△21.9	△47	—	△37	—	△36	—
2022年3月期第1四半期	742	13.4	5	—	7	—	△12	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △36百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △12百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△2.90	—
2022年3月期第1四半期	△0.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,805	1,505	83.4
2022年3月期	2,097	1,542	73.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,505百万円 2022年3月期 1,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	2.8	30	△42.6	60	△34.8	30	△95.6	2.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	13,015,222株	2022年3月期	13,015,222株
2023年3月期1Q	308,719株	2022年3月期	308,719株
2023年3月期1Q	12,706,503株	2022年3月期1Q	12,706,503株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、持ち直しの動きが見られました。一方、先行きにつきましては、ウクライナ情勢等の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約等に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある状況となっており、不透明感が強まっております。

当社グループが所属する情報サービス産業におきましては、新型コロナウイルス対策を契機とした企業の働き方改革への取り組みを背景に社会のデジタル化が加速しており、競争上の優位性を確立するDX（デジタルトランスフォーメーション）関連の需要が引き続き旺盛です。

当社グループは、ソリューション事業において、急速に変化するデジタル社会に対応すべくRPA・AI・顔認証など新たなソリューションによる新規顧客の開拓に邁進しました。また、エンターテインメント事業においては、100周年記念事業に加え、コンテンツ映像配信をはじめエンターテインメントと当社独自のDXソリューション技術の融合による新たなサービスが顧客増加につながり、安定した収益を確保しました。一方で、前年9月に株式を譲渡した子会社の連結除外による売上減が生じました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は579百万円（前年同四半期比21.9%減）、営業損失は47百万円（前年同四半期は5百万円の利益）、経常損失は37百万円（前年同四半期は7百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は36百万円（前年同四半期は12百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ソリューション事業

弊社独自の顔認証ソリューション群・AI（人工知能）を中心としたスマートビジネス事業においては、既存の顔認証ソリューション群に別要素の画像認識技術を組み合わせた新しい取り組みにより、お客様のDX推進支援を進めております。また、秘密分散技術を搭載することで無人航空機（ドローン）や移動型ロボットの完全データセキュリティを実現する「インテグリティ・ドローン」の開発並びに提案活動を進めております。

防災システムにおいては、近年の異常気象（局地的な豪雨、線状降水帯、異常高温状況等）による大規模災害（河川の洪水、土砂災害）に対して迅速に対応するため、国内の防災監視システム、道路監視システムの整備に注力いたしました。避難情報に関するガイドラインの改定に伴い、分かり易い情報提供を行える様に努めてまいります。

一方で、前年9月1日に株式を譲渡した子会社の連結除外等により、前年同四半期に比べ減収減益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間におけるソリューション事業の売上高は541百万円（前年同四半期比21.8%減）となり、セグメント損失は30百万円（前年同四半期は23百万円の利益）となりました。

② エンターテインメント事業

連結子会社の株式会社OSK日本歌劇団につきましては、7月京都南座公演を控え当四半期は大規模公演の開催がない端境期となり、売上高は前年同四半期を下回りましたが、利益は、感染防止策を徹底したうえでOSK Revue Cafe in Brooklyn Parlorでの有観客公演とコンテンツ映像配信を継続することで、前年同四半期並みとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間におけるエンターテインメント事業の売上高は38百万円（前年同四半期比24.2%減）、セグメント損失は16百万円（前年同四半期は18百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,805百万円となり、前連結会計年度末に比べて292百万円減少しました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が168百万円、有価証券が100百万円、現金及び預金が18百万円それぞれ減少したことによりです。

負債合計は300百万円となり、前連結会計年度末に比べて255百万円減少しました。これは主として、未払法人税等が211百万円、支払手形及び買掛金が42百万円それぞれ減少したことによりです。

純資産合計は1,505百万円となり、前連結会計年度末に比べて36百万円減少しました。これは利益剰余金が36百万円減少したことによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月16日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	985,623	967,240
受取手形、売掛金及び契約資産	458,601	290,577
有価証券	100,000	-
商品及び製品	2,923	2,854
仕掛品	13,091	16,580
その他	59,250	53,996
流動資産合計	1,619,491	1,331,249
固定資産		
有形固定資産	102,226	98,666
無形固定資産		
のれん	23,564	22,645
その他	26,376	25,358
無形固定資産合計	49,940	48,004
投資その他の資産	326,003	327,682
固定資産合計	478,170	474,353
資産合計	2,097,661	1,805,603
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,001	62,814
1年内返済予定の長期借入金	30,216	30,216
未払法人税等	219,698	8,565
その他	141,050	146,764
流動負債合計	495,966	248,360
固定負債		
長期借入金	44,396	36,842
退職給付に係る負債	8,035	8,035
資産除去債務	5,509	5,509
その他	1,541	1,494
固定負債合計	59,481	51,882
負債合計	555,448	300,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,965	1,310,965
資本剰余金	378,355	378,355
利益剰余金	△42,481	△79,334
自己株式	△104,625	△104,625
株主資本合計	1,542,213	1,505,360
純資産合計	1,542,213	1,505,360
負債純資産合計	2,097,661	1,805,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	742,615	579,686
売上原価	529,471	426,555
売上総利益	213,143	153,131
販売費及び一般管理費	208,121	200,318
営業利益又は営業損失(△)	5,022	△47,187
営業外収益		
受取利息	25	64
受取配当金	440	465
業務受託収入	-	8,100
助成金収入	2,272	2,908
その他	284	302
営業外収益合計	3,022	11,839
営業外費用		
支払利息	329	279
消費税等差額	99	784
その他	529	714
営業外費用合計	958	1,777
経常利益又は経常損失(△)	7,086	△37,124
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,086	△37,124
法人税、住民税及び事業税	4,527	1,947
法人税等調整額	15,201	△2,219
法人税等合計	19,729	△271
四半期純損失(△)	△12,642	△36,852
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,642	△36,852

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△12,642	△36,852
四半期包括利益	△12,642	△36,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,642	△36,852

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	ソリューション 事業	エンターテイン メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	692,409	50,205	742,615	—	742,615
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,624	6,624	△6,624	—
計	692,409	56,829	749,239	△6,624	742,615
セグメント利益又は損失(△)	23,706	△18,683	5,022	—	5,022

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	ソリューション 事業	エンターテイン メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	541,640	38,046	579,686	—	579,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,424	5,424	△5,424	—
計	541,640	43,470	585,111	△5,424	579,686
セグメント損失(△)	△30,524	△16,662	△47,187	—	△47,187

(注) セグメント損失(△)の合計額は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。